様式３（2020.06改）

作成日　令和　4年　1月　30日

外部評価軽減要件確認票

事業所番号	2391000201
事業所名	グループホーム一色

【重点項目への取組状況】

重点項目①	事業所と地域とのつきあい（外部評価項目：２）	評価
	自治会に加入し自治会長とは協力関係が築かれている。また地域住民とは会えば挨拶を交わすなど顔馴染みとなっている。回覧板で地域情報は得られるが、コロナ感染症防止の為行事の中止やボランティアの受け入れが困難で交流が出来なかった。	○
重点項目②	運営推進会議を活かした取組み（外部評価項目：３）	評価
	例年なら年六回運営推進会議を開催していたが、コロナ禍の為会議自粛要請となり通常の運営推進会議が開催出来ず、開催出来た時には町内会長、民生委員、いきいき支援センター職員の参加が得られホームの現状を伝え意見交換している。	×
重点項目③	市町村との連携（外部評価項目：４）	評価
	区役所担当者とは電話やメールで連絡を取っているが、生活保護の入居者の方の手続きや書類提出等で出向いた際にもホームの状況を伝え、アドバイスを受ける等良好な関係が築かれている。いきいき支援センターとは入居の問い合わせ等で協力体制が整っている。市の研修はオンライン開催が主だったが参加が難しかった。	○
重点項目④	運営に関する利用者、家族等意見の反映（外部評価項目：６）	評価
	利用者からは日々の支援のなかで意見、要望を聞きだし、食べたい物があれば家族連絡し差し入れの協力が得られている。コロナ禍で面会自粛の為家族には利用者の様子を電話やメールで連絡を入れ、意見要望が出された時は職員間で共有し速やかな対応に努めている。季節の挨拶文と共にホーム行事、写真を載せた利用者の様子を「ホーム便り」として年二回郵送している。	○
重点項目⑤	その他軽減措置要件	評価
	○「自己評価及び外部評価」及び「目標達成計画」を市町村に提出している。	○
	○運営推進会議が、過去１年間に６回以上開催されている。	○
	○運営推進会議に市町村職員等が必ず出席している。	○
総合評価		○

１．外部評価軽減要件

①　別紙４の「１　自己評価及び外部評価」及び「２　目標達成計画」を市町村に提出していること。

②　運営推進会議が、過去１年間に６回以上開催されていること。

③　運営推進会議に、事業所の存する市町村職員又は地域包括支援センターの職員が必ず出席していること。

④　別紙４の「１　自己評価及び外部評価」のうち、外部評価項目の２、３、４、６の実践状況（外部評価）が適切であること。

２．外部評価軽減要件④における県の考え方について

外部評価項目	確認事項
２．事業所と地域のつきあい	（例示） ①　自治会、老人クラブ、婦人会、子ども会、保育園、幼稚園、小学校、 消防団などの地域に密着した団体との交流会を実施している。 ②　地域住民を対象とした講習会を開催若しくはその講習会の講師を派遣し、認知症への理解を深めてもらう活動を行っている。
３．運営推進会議を活かした取り組み	（例示） ①　運営基準第８５条の規定どおりに運用されている。 ②　運営推進会議で出された意見等について、実現に向けた取り組みを行っている。
４．市町村との連携	（例示） ①　運営推進会議以外に定期的な情報交換等を行っている。 ②　市町村主催のイベント、又は、介護関係の講習会等に参画している。
６．運営に関する利用者、家族等意見の反映	（例示） ①　家族会を定期的（年２回以上）に開催している。 ②　利用者若しくは家族の苦情、要望等を施設として受け止める仕組みがあり、その改善等に努めている。 ③　家族向けのホーム便り等が定期的（年２回以上）に発行されている。

【過去の軽減要件確認状況】

実施年度	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	R元年度
総合評価				○	×	×	×	○	○	○	×
実施年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	R10年度	R11年度	R12年度
総合評価	○	×									